

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839
購読料 年共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷
第551号

10月号 TOPICS
秋のPR号
今月号はまだ会員になられていない先生にもお送りしています

「同じような減点がたくさん来た」「個別指導の通知が届いた」「万が一への備えについて相談したい」...

未入会の先生はぜひ この機会にご入会ください

お困りごとに協会がサポートします

- ◆日常の保険請求、減点・返戻、審査のご相談を承ります
- ◆個別指導、保健所の立入検査のご相談を承ります
- ◆点数改定時には、わかりやすいテキストを発刊し、解説動画をWeb配信します。改定に関するお問い合わせにも対応します
- ◆医療法等に定められ、義務化されている医療安全管理、院内感染対策、診療用放射線・医薬品に係る安全管理に関する職員研修用テキストを発行し、解説動画もWeb配信します
- ◆税務経営、税務調査に関するご相談を承ります
- ◆保険医年金、休業保障、グループ生命保険など有利な共済制度に加入できます



会員向け書籍を多数発刊
会員のみ無料配付または特別価格にて販売しています



詳しくは協会までお問い合わせください。
協会ホームページからお問い合わせ、入会申し込みも可能です。

TEL: 023 (642) 2838

入会方法

入会申込書に必要事項を記入いただき、協会へ送付ください (FAX可、Web 申込可)。

【会費】入会金はありません。定期刊行物もお届けします。

〈定期刊行物：山形保険医新聞 (月1回)、全国保険医新聞 (月3回)、月刊保団連 (月1回)〉

開業医会員 月額 5,500円 勤務医会員 月額 3,500円

※開業医会員は入会后1年間のみ 3,500円

【支払方法】入会后、ご指定の県内金融機関の口座から振替させていただきます。
※3ヵ月ごと振替 (3・6・9・12月の15日、土日祝日の場合翌営業日)



Webもご覧ください

山形県保険医協会 第50回定期総会のご案内

日時：2025年11月15日(土) 15:30~20:20
会場：大手門パルズ (山形市)

第1部 総会議事 15:30~16:15
(活動方針、予算・決算)

第2部 市民公開講演会 16:30~18:15

大人力のみがき方

~自分も周りも元気になるために~

講師：昭和女子大学 ダイバーシティ機構 客員教授 心療内科医 海原 純子 氏



〇どなたでも参加できます。事前にお申し込みください
〇参加費は無料です

第3部 総会懇親会 18:30~20:20

山形県保険医協会 2025年後期 医療安全管理
院内研修用テキストとWeb配信のご案内

医科・歯科
保健所立入検査対応

医療安全管理 医療機関における災害対策

院内感染対策 消化器感染症

医薬品安全管理 医薬品の医療事故事例

動画解説	医療安全管理 岩下 洋 全国保険医団体連合会 事務局 主査 院内感染対策・医薬品安全管理 中島 幸裕 ICD(インфекションコントロールドクター) 認定医 山形県保険医協会 理事長
動画時間	医療安全管理 30分(予定) 院内感染対策 10分(予定) 医薬品安全管理 10分(予定)
視聴期間	11月26日(水)・12月26日(金)
視聴方法	YouTubeによるWeb配信方式 インターネットによる視聴環境をご準備ください 視聴方法、ID、パスワードはテキストをご覧ください
対象	会員医科・歯科診療所、病院の全ての職員 未入会の先生はご入会のうえお申込みください



先日の参議院選挙は、今までにない選挙になりました。特に参政党の躍進は、日本の政治体制の代わり目を感じさせることになりました。「日本人ファースト」との訴えは、これまでの政党の訴えとは異なるものでした。山形県で過半数を占め、今一つ「日本人ファースト」と言われてもピンときませんが、東京などの都市部では、コンビニの外国人従業員の割合が非常に多く、たまに東京に行くくと戸惑ってしまうほどです。それでも、外国人従業員の対応に問題があると思っただけではありません。参政党の主張は、外国人に日本人の仕事が奪われてしまふとの訴えでしたが、外国人がいないと困ることも現実には起きています。医療界、特に介護分野で人材不足が深刻です。なり手がなく、仕事が回らない現状に直面しています。医療・介護・福祉を維持していくには、外国人に手伝わってもらわないと、国民に対して責任ある医療・介護を提供できない状況に陥るところにきています。山形では人口100万人を割り、今後とも日本人の人口減少は進んでいくと考えられています。医療のみならず、日本の生業が日本人のみでは成り立たない時代がもう始まっているというのを、山形にいても考えておかなければならないと感じます。(N)



先日の参議院選挙は、今までにない選挙になりました。特に参政党の躍進は、日本の政治体制の代わり目を感じさせることになりました。「日本人ファースト」との訴えは、これまでの政党の訴えとは異なるものでした。山形県で過半数を占め、今一つ「日本人ファースト」と言われてもピンときませんが、東京などの都市部では、コンビニの外国人従業員の割合が非常に多く、たまに東京に行くくと戸惑ってしまうほどです。それでも、外国人従業員の対応に問題があると思っただけではありません。参政党の主張は、外国人に日本人の仕事が奪われてしまふとの訴えでしたが、外国人がいないと困ることも現実には起きています。医療界、特に介護分野で人材不足が深刻です。なり手がなく、仕事が回らない現状に直面しています。医療・介護・福祉を維持していくには、外国人に手伝わってもらわないと、国民に対して責任ある医療・介護を提供できない状況に陥るところにきています。山形では人口100万人を割り、今後とも日本人の人口減少は進んでいくと考えられています。医療のみならず、日本の生業が日本人のみでは成り立たない時代がもう始まっているというのを、山形にいても考えておかなければならないと感じます。(N)